J-net
熟年ネット・ひたち

熟年

「シニアライフを
心豊かに生きる」ために
「仲間、生きがい、ひたちを
愛する心」を大切に
「感謝し感謝される楽しい活動」

明けましておめでとうございます

平成30年12月20日　於 シビックセンター

和気あいあい　広げよう活動の輪を

代表　山野　邦雄

明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新年をご家族ともどもお迎えのことをお喜び申し上げます。

今年の干支の亥は、猪突猛進をいわれますが、植物がエネルギーを種子に溜めることを意味するとも言われます。J-netも転換期を迎える時となり、力を蓄えつつ明日に向かって積極的に活動を続けたいものです。

昨年のJ-netは、担当の努力はもとより会員・会友の皆さまのご協力により、三本柱の活動のほか、トピックス欄に記載の素晴らしい活動を繰り広げられたことを誇りに思っています。

平成30年を表す漢字として「災」が選ばれましたが、本年は災い転じて福と成る年であってほしいと願います。

メーカーのデータねつ造、飛行クルーの飲酒、経営者の企業私物化、スポーツ界でもアメフト不正タックル、ボクシング奈良判定、レスリング・体操のパワハラ問題など、日本人の誠実・勤勉の評価を根本から覆す状況を世界に発信しました。スポーツの世界では、テニスの大坂、野球の大谷、水泳の池江、バトミントンの山口、卓球の張本など若手の大活躍で希望を与えてくれました。政治経済においても若い力が次世代の日本をリードし、信頼を取り戻すよう願うばかりです。

J-netは発足24年を迎え、活動内容・方針は経験から現状に行きつきました。シニア講座・楽習会・自主グループの三つの活動は、会員を「シニアライフを心豊かに生きる」道へ導いてくれるとともに、高齢化社会において、公的負担を減らす有効な手段であるとの思いは変わりません。代替わりは避けて通れぬ状況となりました。新しい参加者の感覚も加味して一層会員・会友、市民の皆さまに受け入れられる活動を続けられるよう、新会員への期待とともに、各活動グループには引き続き後継者育成をお願いいたします。

本年が皆さまとご家族に幸多い年となりますようお祈りいたします。

平成30年J-netトピックス

●会員のボランティア活動活発

白土節子さん　社会福祉活動に協力援助した個人として、日立市社会福祉協議会会長顕彰を受けた。（11月）

濱高廣さん　デイサービス2施設で高齢者の見守りと余暇支援活動。社協依頼による障碍者外出サポートと、障碍者グループの余暇支援活動。活動状況が社協だよりで紹介された。（11月20号）

井上和美さん　日立北部地区で、J-net活動のPRを兼ね、県北生涯学習センターでの学童保育ボランティアに参加。

●「J＆Bグループ」県知事表彰

茨城県社会福祉大会で10月17日、多年にわたる社会福祉事業の推進への貢献を表彰された。

●「ある町の高い煙突」映画化を積極的に応援

会員・会友やその仲間に広く呼びかけ、工都日立のルーツへの関心を喚起した。全自主グループのほか、映画化協賛金へ多くの賛同者を得た。

●「ウオーク会」100回記念ウオーク実施

第1回ウオーク会（平成17年4月）を小木津山自然公園で開催。以来参加者が少ないなど継続を危ぶまれる時もあったが、ウオーク企画を相互に行い、担当者の負担軽減とともに参加者数も増えた。14年を経て100回を迎え、平潟への一泊ウオークで楽しく盛大に祝った。

新春を迎えて

― 会員よりの一言 ―

大園 哲夫　新年の抱負

前期高齢者となり２年が過ぎようとしているが、昨年までは朝昼、食後の食器洗いや洗濯物干し、部屋や風呂掃除など手伝っている。今年はこれに加え、これまで長年にわたり毎日我が家の食卓の料理を一手に引き受け、調理してくれていた料理長に厳しく指導してもらい、本格的に夜の食事の料理作りに挑戦したい。

帰山 芳夫　己亥年にあたって

今年は己亥年で自分の星座(魚座)から見ると、比較的幸運が続く年であると言われており、このことを信じて自分の思うとおりに物事を進めてみようと思う。その一つとして、４月に世間の喧騒から離れて、日本一海が綺麗だと言われている沖縄の宮古島で、妻とふたりで３週間マンスリーマンションを借りて、のんびりと海とたわむれてこようと思っている。

吉牟田 護　少欲知足

「欲を少なく、現状を満ちたりたものと理解をし、不満をもたない」我、生身の人間、ついつい何事にも欲がでる。麻雀は『押し切り』『オリ』が大切で冷静に戦況を分析、メリハリが肝要と言われるが、ついつい欲が出て墓穴を掘る。今年は何事も「少欲知足」を常に念頭において分相応なふるまいを心がけていきたい。

黒澤 富寿子　絵手紙

竹本 講治　J－net 会員、2年目に思うこと

企画委員会等を通じ感じたことは、出席者の意見が多種・多様であること。女性・男性の立場、仕事一筋で現役時代に培った経験談、楽習会を通じた第三者の意見等、時には感情も入る。苦労されるのが司会者と事務局の方であるが、多数決でなく、委員会として意見集約を基本にしたいと話されたことを思い出す。従い、予定時間を過ぎても議決が先送りされることもあるが議論は深まる。最近は当委員会にも慣れ、違和感を感じないが、仲間作りの考え方が委員会運営にも活かされているように思う。

小澤 ひろみ　初心にもどる

クラフトテープで同じカゴを二つ作成したが、どういう訳か、最初の方が綺麗な仕上がりになった。二つ目は、自分におごりがあったと反省した。今年は何事にも「丁寧に」の気持ちで向かおうと思う。

白土 節子　猪突猛進 !!

夢に向かって一直進
今日の夢を叶える為に

鈴木 静子　春を待ちわびて、ホーホケキョ

私はずっと、鶯はウグイス色をしていないのになぜかと疑問に思っていた。先日ネットで調べてみた。目から鱗、私達がウグイス色だと思っている色はウグイス色ではなかった。花札で梅に鶯となっているが、あれはメジロとのこと。メジロを私たちが一般にウグイス色と誤解していた。この年になっても知らないことが多い。今年もわからないことは、きちんと調べて解決していきたいと思う出来事でした。ボーっと生きていて、チコちゃんに叱られないように…

石井 和美　元気が一番

明けましておめでとうございます。穏やかな年でありますように。そして元気で仲間と楽しく活動したいです。

濱 高廣　充実した日々

昨年は福祉活動志向に舵を切り、二つの活動を新たに始め、また、新たな市民活動グループにも参加し事務局として活動を開始し、忙しくも充実した毎日を送ることができました。
本年は、デイサービスセンターでの活動、障碍者グループの余暇支援活動に加えて、県内での国体開催に伴う公式オリエンテーリング大会の主催でも頑張ります。

内山 義雄　謹賀新年

今年の目標は大きく二つ。
① J-net 参加率目標 30%
　総会のみ出席の幽霊会員からの脱却。
② 新元号初年度の年にも海外に足跡を。

平成５年から 30 年まで毎年海外旅行に行ったが、昨年はフライト 13 時間が体にきつく感じた。体力・健康維持増進に挑戦。

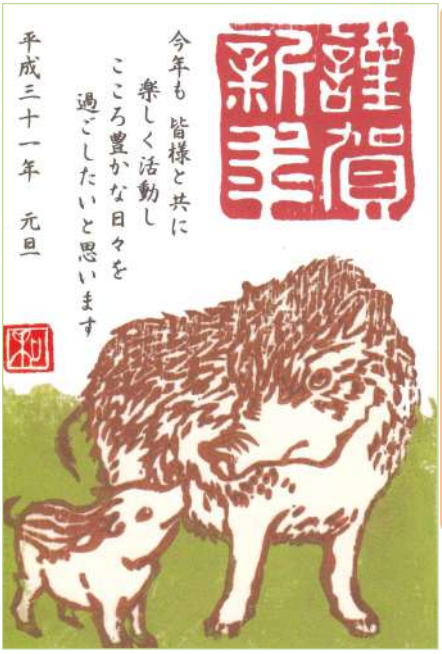
小豆畑 安男　詩吟

昨年はシニア地域活動入門講座を無事に卒業して、皆さんが輝いて活動されている J-net の仲間入りをさせていただきました。今年は、学ぶ喜びを胸に、詩吟教室（やよいの会）帰山三和子先生の厳しい指導の下、詩吟を学び自信をつけたいと思います。

井上 和美　新たな人生の船出

古希を迎え、新たな人生の一歩を歩き始めることになりました。何事もチャレンジです。
気力と体力の維持に努め、新たな発見に感動する日々を過ごしたいと願っております。

山中 かよ子
（模写絵）
花の春
寿ぐごとく
集う鯉



畑山 和子　木版画年賀状３版３刷

岡田 泰典　のんびり、ゆっくり

世界情勢は相変わらず混迷し、特に経済面では、世界を牽引してきた中国と米国の景気低迷が予測され、その影響が懸念されているが、我が国では５月に皇位継承、改元が実施されることから、心機一転、より良い時代が拓かれることを期待したい。自身は物事に執着し過ぎず、心を広く持って、おおらかに、ゆっくり生きていきたいと思っている。

富田 滋男　ハイレゾ音楽を聴く

昨年偶然に本屋で音楽雑誌を見ていたら、付録にハイレゾ音楽が聞ける基板が付いているものを発見。調べてみると何種類もの基板がシリーズであり、付録の音楽基板など大したことないと思っていたがとんでもない。いい音が出る。現在は 10 枚位になり、色々な組み合わせで色々な音楽を聴いている。ボケ防止。残念だが家では大きな音が出せない。今年は何処かで大きな音で聞いてみたい。

小池 邦夫　第3のターニングポイント

昭和に生まれ社会人となり、平成では長い会社生活が終わった。それぞれの元号の元で人生のターニングポイントとなった要因があった。さて本年は新しい元号がスタートする。果たして第３のターニングポイントとなるよう、なにかを経験することになるのだろうか。そこで思う、そんなことを考えることは愚の骨頂。それは今の生活の中でそれを見つけることだと。

鈴木 百合子　今年への思い

新・年号元年、年頭に思い浮かんだ事を書いてみました。昭和・平成と私にとっては、マァマァ大きな転倒も無くサードベースに届いたか？と感謝です。そして、新年号何年後かには、そこに見えるホームベースを私なりに、きちんと踏みたいと気持ちを新たに感じています。

秋山 雅絵　抱負

・今年から本の（読破リスト）を作る。無論、読後の詳細記入も必須。本好きを自称はするが、自分の傾向を再確認する為に。
・短歌詠草　年に五十首目標
「私は無趣味」を覆します。それと娘へのフォローを徹底的に。今年を節目の年にします。

佐藤 一男　やっぱり今年も健康第一かな

気持ちだけはまだまだ 50 才台のつもりだが、最近は鏡に映るわが顔、わが姿を何時も他人顔で見入っています、健康第一を心掛けて今年も過ごしたい。
孫が今年２人増えて５人になりました。どの孫もかわゆい、成長を静かに見守っていきたい。今から認知症予防に、全員の結婚披露宴の挨拶文を考えていきます。ガンバレ！！！ピンチャン。

湯澤 昭一　観音巡礼

昨年計画した坂東三十三観音巡礼は、三十三番目に詣でた出流観音を、11 月 11 日に参拝し完了した。
今年は秩父三十四観音巡礼（総延長約 97Km）を、自分を見詰め直しながら完歩したいと考えてます。

山野 邦雄　平成 31 年の抱負

昨年の抱負の一つ、エージシュートの達成はなった。平成最後の年も目標を掲げ、実現への努力を続けたい。

1．断捨離とエンディングノートの執筆で、後の負担を軽減する。
2．PPK 実現の可能性を高めるよう体力維持に努め、併せて２回目のエージシュートを目指す。
3．「ある町の高い煙突」映画化成功と「ひたち活性化」に役立つ活動を、広く仲間に呼びかけ流れを作る。

岩本 浩　新春を迎えて

私の現役時代は、定年とは会社の地位や肩書から離れて一人の人間として人生 80 年時代をどのように生き抜くか、ぼーっと生きているうちに 80 年時代を通り過ぎて人生 100 年時代に突入してしまった。「生涯現役、臨終定年」の意識をもって豊かで充実した人生を送れるよう、今年も無理せず、マイペースで頑張りたい。

藤本 欣正　新春を迎えて

先行き短くなった身、昨年は定期的な病院通いの他は問題なく過ごせた。この先、新しい事には手が出ないが、今やっている二つのボランティア活動と家庭菜園を続け、健康寿命を米寿と云わず 90 歳までは精進して延ばしたい。

学 習 会

市政勉強会「防犯を学ぶ」（10/25）

県内・市内でも、空き巣などの犯罪が増えている中、最近の犯罪事例や防犯対策などについて、日立警察署の塩田課長、市都市政策課の高橋課長や市防犯サポーターから寸劇を交えて講話をいただいた。各種犯罪の中でも電話詐欺は手口も巧妙化しており、1,400 万円もの大金を騙し取られた 71 歳の婦人の例もある。お金が貰えるなどのうまい話や、子や孫の名をかたってお金を騙し取ろうとする電話に対しては、本人確認や家族に相談するなど、慎重な対応が必要とのこと。

また、倒壊や火災防止の観点から空き家を減らす努力が必要なこと、運転免許返納や防犯灯設置への補助制度があることなどの説明もあった。安全で明るい生活の参考としたい。　（参加者 36 人）　（岡田 泰典）

つくば防災科学研究所見学（11/8）

秋晴れの中、防災科研、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、農研機構の３か所を訪ねるつくば研究所バス旅行が開催された。

最初に自然災害（地震、異常気象など）に対しての予測、予防、対策、改善を研究し、啓蒙を続ける防災科研を訪ね、地震ザブトン体験、大型耐震実験施設・大型降雨実験施設を見学した。自然災害の多い我が国を再認識すると共にそれへの備えの大切さを思い知った。

続いて訪ねた KEK では、見学前に社内食堂で研究者に囲まれ昼食。1000 人を超す KEK の博士群に国内外からの多くの研究者がチームを作り、24 時間体制で東京ドーム 33 個分の敷地に設置された実験設備を活用して研究を続けている。物質や生命現象の理解を進め、物質の構造や、化学反応のしくみの解明をもたらし、さらには新しい機能を持った材料などの開発につなげているとのことである。身近な食品会社や製薬会社も製品開発に利用しているそうだ。

最後に訪れた農研機構では、米や麦の基本食料の品種改良（病気、異常気象への対応、美味追求など）、サツマイモ、蚕、蕎麦、ミカンなどの改良の実例紹介を受けた。また、農具 1800 年間の変遷を実物で紹介いただいた。過去の実体験を多くの展示物を見ながらたどることは、KEK で疲労した脳には心地よい癒しの時間となった。帰りの車中は飲み物と、充実した一日への満足感とあいまって楽しい語らいの場となり、あっという間の帰路となった。（参加者 33 人）　（山野 邦雄）

地域包括支援センターの活動内容（11/22）

日立地域包括支援センターは、高齢者が地域で生活していく上で、介護や福祉などの心配事について相談できる総合窓口とのこと。保険師やケアマネジャー、社会福祉士などの専門職が連携して、高齢者が介護が必要となったとき、家庭や地域での生活を安心して継続できるよう、生活支援をしていただけるとのこと。現在介護サービスを利用する必要がない高齢者でも、できるだけ介護を必要としない暮らしを長く送るために、介護予防に努めることが重要と感じた。そのための日常生活支援事業も実施されている。暮らしに心配事があったら、まず「地域包括支援センター」に相談しましょう。　（参加者 29 人）　（山中 かよ子）

常陸那珂火力発電所見学（12/6）

石炭燃料の常陸那珂火力発電所を見学した。中央制御室、タービン建屋を見学し、接岸中の８万トン石炭運搬船から直接貯炭場に運搬される様子などを解り易く説明いただいた。出力は県内一般家庭の電力需要の６割を賄う規模で、世界有数の発電効率 45.2%の最新鋭発電プラントであり、昨年より木質バイオマス燃料を混入し、ＣO2 削減や石炭灰の埋立利用、建材の石膏製造リサイクルは、大きな特徴点として紹介された。

石炭火力は環境に悪影響とされるが、それを払拭する環境対策の発電所をバックに記念撮影し、発電所を後にした。

（参加者 37 人）　（竹本 講治）

年末交流会（12/20）

恒例の平成 30 年を締めくくる年末交流会を、シビックセンターで盛大に開催した。

全員での記念撮影のあと山野代表の挨拶、そして来賓の日立市社協・豊田事務局長から、日頃の J-net との連携・協力に感謝する旨、ご挨拶があった。その後、新入会員３人の紹介、乾杯と続き、それぞれのテーブルごとの歓談に入った。時間が経つにつれ、懇親は会場いっぱいに広がる。最後に各テーブルから、じゃんけんにより選出された代表と山野代表、ご来賓の豊田さんによる大抽選会で大盛り上がり。続いて畑山副代表の閉会の辞、小池さんの三本締めでお開きとなった。

（参加者 40 人 うち来賓１人）　（三ツ井 義弘）

自主グループ活動

新年の抱負

Ｊネット・オカリナハート　練習の成果を期待

昨年は４人の新入会者があり、メンバーは 20 人となった。レッスンは新人・ベテランの２部制で行い、新人グループも熱心に練習しているので、そのうちオカリナハート・ジュニアの結成も期待される。

今後は１月 25 日、聖愛園千石デイサービスセンターでの出前演奏、２月 10 日は練習場となっている金沢交流センターの芸能祭出演、５月の連休には毎年恒例のシビックセンター音楽ホールで行われるミュージックトレインでの演奏が予定されている。聴いてくださる方たちに喜んでいただける演奏ができるように、メンバー一同練習にも熱が入っている。　（畑山　和子）

グループ・ピニオン　新年に思うこと

昨年は、ピニオンがボランティア活動をしている介護老人保健施設「しおさい」で、設立 20 周年の記念式典が行われ、ピニオンからも代表者２人が出席した。

平成 16 年から毎週訪問を続けている私たちの活動も 14 年となった。日立市の高齢化率は 30%を超え、ピニオンもほとんどのメンバーが高齢者・後期高齢者となっている。わが身を考えれば、この先いつまで活動を続けられるかという危惧も頭をよぎるが、健康に留意し、１日でも長くお手伝いができたらと思っている。利用者の方たちの元気な歌声と「オカリナに合わせて歌うのを楽しみにしているよ」という嬉しい声が励みになっている。　（畑山　和子）

笛の会　楽しみながら

実のところ、月１回の「しおさい」でのボランティア演奏の練習で多くの時間を費やし、新しい曲の練習がなかなかできない。今年は少しでも別の曲にも挑戦したい、とメンバー一同意気に燃えている。笛の会は、曲のジャンルにはこだわらず「楽しければ何でも」がモットーであり、これからもこれで続けていきたい。もちろん、ケーナで吹く曲の一番はフォルクローレであり、これも決して忘れない。再度、自主グループとしての演奏会をやれれば、皆さんに成果をお見せできるかも。　（三ツ井　義弘）

Ｊ＆Ｂグループ　県知事賞を受賞しました

発足以来先輩方のご尽力で今回、県知事賞を頂きました。先輩方ありがとうございました。とても励みになります。日立市社協で、毎週火曜日 10：00～16：00 まで、おもちゃの消毒や見守りを行っています。春祭り・夏祭りでは親子で楽しみます。親子研修会では、ボランティアさんと一緒に頭を使い、小物を作り上げ「できた！」の笑顔になるよう頑張っています。次回は２月に行う予定です。お楽しみに！　興味ある方の参加をお待ちしております。　（白土　節子）

河原子海岸清掃グループ　元気に集まれるように

2009 年に発足して、本年５月で 10 周年。記念行事をやりましょう。清掃グループの皆さんのアイデアを募集します。

河原子海岸清掃グループの大きな変化として、昨年は会長を若い小林さんにバトンタッチしました。皆さんのバックアップをお願いします。本来この抱負文は、小林さんが思いを記するところですが、諸事情により前任者が代筆しています。本年も本来の清掃作業はもちろん、懇親を深める行事もいろいろ提案していきますので、楽しんで活動しましょう。また、このグループで活動したい方は、いつでも声をかけてください。welcome！です。　（代筆　富田 滋男）

ウオーク会　皆さん一緒に歩きませんか

平成 17 年に「ウオーキングクラブ」として立ち上げてから昨年で 100 回を迎え、記念ウオーク会を開催することができた。この間、周辺の山歩きが多かったことや、膝痛に悩まされる人などが出て、参加者が減少し、解散の危機もあった。現在、コースを各担当者が決めることにしたため、担当者の独自性が出て、街歩きや電車の利用など、コースがバラエティーに富むようになり、参加者も多くなった。１人で歩くのはなかなか気が重いが、仲間とみんなでワイワイガヤガヤおしゃべりしながら歩くのは気分も晴れるし、最高の運動です。皆さん一緒に歩きませんか！　（山本　三男）

おもちゃの病院　前院長のレールを踏襲

現在、定期診療は６カ所で、18 人のドクターが分担して開院している。ほかに市主催のエコフェス、百年塾主催のフェスティバルなどにも出張診療を行っている。おもちゃの電子化は目覚ましく、これがおもちゃかと見間違うほどの高機能のものがあり、我々ドクターを悩ませているが、代表者会議などで情報交換しながら知恵を出し合い、これらに対処している。おもちゃの病院は、子どもたちに「科学と創造する力、物の大切さを教える」ことを目的に、前院長の故小林勇作さんの発案で立ち上げた。各定期診療所や出張診療の体制もでき上がっており、このレールを外すことなく踏襲しながら、さらに発展を期待したい。

（山本　三男）

●● インフォメーション ●●

楽　習　会　（1～3月）

月/日	楽習テーマ	内　　容	場　所
1/24	井戸端会議（4）	楽習会テーマを発掘しよう	女性センター
2/14	県政出前講座	県北地区再復活の諸施策について	
2/28	皆で考えよう J-net	皆で楽しく意義あるテーマを選ぼう	
3/14	井戸端会議（3）	楽しくおしゃべりをしよう	
3/28	日立の活性化について	我が町日立の活性化を考えよう	

★　平成 31 年度楽習会テーマ募集　★

2 月 28 日に開催する楽習会「皆で考えよう J-net」で、平成 31 年度の楽習会年間活動の内容について話し合い、テーマ、開催日時の年間活動計画を作成し、併せて担当希望テーマの申し出をお受けします。それに先立ち、1 月 24 日の井戸端会議（4）で取り上げたテーマ、どうしたら更に有意義な楽習会になるか、などの話し合いを行いますので、日頃お考えの事を整理して井戸端会議に出席ください。当日井戸端会議に出席できない方は、メールまたは手渡しで楽習会担当にお伝えください。皆で楽しく、有意義な楽習会にしていきましょう。

企 画 委 員 会 情 報　（11～12 月）

審議事項の主なものを掲載します

11 月　1）バス代関連費の補助に関する件　今回出た新提案も含め継続審議とする
　　2）会友制度に関する件　基本的に了承されたが、今年度の会則改訂は見送りとする
　　3）シニア講座助成金、つくば旅行決算　了承

12 月　1）3/14 予定の酒造会社見学は見送り井戸端会議に変更する
　　2）一泊懇親旅行補助金廃止の提案､他の補助金関連の件も含め継続審議とする
　　3）火力発電所見学決算　了承

リレー随筆

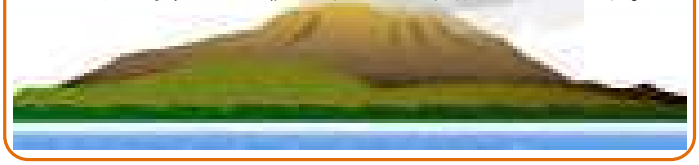
～ ふるさと鹿児島のことあれこれ ～

大園 哲夫

昨年各種メディアを通じて繰り返し流されたフレーズが“明治維新 150 年”であった。NHK の大河ドラマでも「西郷どん」が放映され、薩摩藩の西郷隆盛や大久保利通などが、他藩の同志達と新しい国造りに奔走する姿を最終回まで見た。全国の方々に鹿児島を再認識いただく良い機会になったと思う。

鹿児島（薩摩）と言って普通に連想されるのは、桜島、さつま芋、芋焼酎、さつま揚げ、黒豚などでしょうか。桜島は錦江湾にどっしりと鎮座して、絶え間なく噴煙を上げ続け存在感は抜群であり、噴火による降灰で迷惑を掛けられても県民にとって無くてはならぬ大切な盟友です。天気予報も通常予報の他に降灰注意報を出して、灰の飛んで行く方向と影響を受ける地域についての情報を提供しています。

さつま芋は 1,600 年頃に中国大陸の「唐（から）」の国から薩摩に伝来した後、薩摩から日本各地に広まって栽培されるようになって、さつま芋の名前が定着したようですが、地元では殆どの人が「から芋」と言います。また、昔は匂いがきつかった芋焼酎も、近年は味も香りもマイルドになり、愛飲者も格段に増加しました。県内には 110 軒以上の焼酎酒造工場があり、この工場数と地元の焼酎消費量は共に国内で一番です。また、先祖を大事にして墓と仏壇の花はいつも絶やさずきれいに、という習慣は徹底されており、墓参りは月に最低 1 回、暑い時期は 2～3 回程度して、花が枯れる前に新しい花に取替える方が多い事から、1 人当たりの生花消費量の連続日本一にも貢献しています。



趣味が高じてのボランティア活動

蕎麦打ち同好会数名で 12 月 18 日、介護施設「山の湯ディサービス」（高萩市）を訪問し、蕎麦打ちデモと食事会を施設のご協力のもと開催した。

当日は利用者・スタッフへ新蕎麦の提供と蕎麦に関わるお話しなどをした。帰り際には、皆さんから「美味しかった、また楽しみにしているよ」との言葉があり、元気を頂いた一日だった。

ボランティアとは、出来ることを、相手の立場になり行い、喜んでいただくことで自分も相手も、お互いにハッピーになる事ではないでしょうか。　（井上 和美）

【編集後記】平成 30 年の J-net としてのトピックスに「ある町の高い煙突」映画化への支援活動がある。映画が、ぜひ多くの人に感動を与えて、と願う。２月には試写会予定で、大いに期待したい。

ところで、年末になって今年のトピックスを探すのが結構大変である。流行語ではないが、ボーっと生きてんじゃないよ、と誰かに叱られそうだ。今年こそは何か新しい、少しでも世間様にお返しできる事が、年末のトピックスに書ききれないほどあることを祈りたい。　（編集子）

発　　行：熟年ネット・ひたち
代表　山野 邦雄
編　　集：広 報 グ ル ー プ
住　　所：〒317 - 0072
日立市弁天町 2 - 12 - 10
Tel(携帯)：080-2380-3089
E-mail：jnet-hitachi@jneth.com
U R L：http://jneth.com